

科目責任者 石川 洋一（薬学教育研究センター／小児医薬品評価学）、野澤 玲子（総合臨床薬学教育研究講座／臨床神経薬理学）

■ 教育目的

この講義では、4年次までに薬物治療学の系統講義を履修し、5年次の病院および薬局における標準実習と各特別コースを履修した学生に対して、総合的な観点で薬物治療学の授業を行う。授業内容は、知識伝達型の講義ではなく、担当教員がそれぞれの専門分野において最先端の医学問題、社会的な問題などを取り上げ、系統講義ではなしえない深く問題を掘り下げた講義を行う。学生は、教員の思想、体験、歴史を背景とした講義に、主体的に参加し、自らの意見を述べて授業に参加することが求められる。【卒業認定・学位授与の方針：YD-⑤、YD-⑥】

■ 学習到達目標

1. 受け身の講義ではなく、自らが意見を述べて授業に参加できる（知識、技能、態度）
2. 薬物治療の最先端の問題を理解できる（知識、技能）
3. 薬物治療を社会的な観点から考えることができる（知識、技能）
4. 患者と医療者の関係を自らの問題として考えることができる（知識、技能、態度）

■ 準備学習（予習・復習）

予習：シラバスで提示された講義内容の予備調査（20分以上）

復習：該当講義の知識確認と不足部分の補充に関する自主学習（20分以上）

■ 授業内容

知識伝達型の講義ではなく、担当教員がそれぞれの専門分野において最先端の医学問題、社会的な問題などを取り上げ、系統講義ではなしえない学生自らが問題を考えるきっかけとする講義を行う。

・講義形式と演習形式

No.	項目	授業内容	SBOコード
1	女性疾患	月経異常、子宮筋腫、子宮内膜症、避妊など	E2(3)-③-6
2	女性疾患	抗リン脂質抗体血症、高プロラクチン血症、妊娠高血圧症、更年期障害など	E2(3)-③-7,8
3	特殊患者集団の薬物治療（1）	妊婦・授乳婦の薬物治療	E3(3)-④-2
4	特殊患者集団の薬物治療（2）	小児の薬物治療（1）	E2(3)-②-1
5	特殊患者集団の薬物治療（3）	小児の薬物治療（2） アトピー性皮膚炎治療など	E2(3)-②-1 E2(6)-⑥-1
6	特殊患者集団の薬物治療（4）	高齢者の薬物治療	E2(3)-②-2
7	テーラーメイド薬物治療	薬物動態と感受性の遺伝多型	E3(3)-①-1～3
8	薬物相互作用の管理 臓器障害時の用法・用量調節	薬物相互作用を考慮した薬物治療 臓器機能低下時の薬物治療	E1(1)-①-8 E2(3)-③-1～3
9	最新薬物治療トピックス（1）	WHO 糖尿病新指針（1）	E2(5)-①-1
10	最新薬物治療トピックス（2）	WHO 糖尿病新指針（2）	E2(5)-①-1
11	最新薬物治療トピックス（3）	WHO 糖尿病新指針（3）	E2(5)-①-1
12	栄養療法特論	栄養療法の基本概念の解説	D1(3)-①-8
13	栄養療法特論・演習（1）	食道がんの栄養療法の演習と解説	D1(3)-①-8 E2(7)-⑧-8
14	栄養療法特論・演習（2）	褥瘡（じょくそう）の栄養療法の演習と解説	D1(3)-①-8 E2(6)-③-3
15	薬物治療学総合演習	薬物治療学の総まとめ	

■ 授業分担者

野澤 玲子（No.1・2、15）、石川 洋一（No.3～5）、植沢 芳広（No.6～8）、榎山 暁史（No.9～11）、安 武夫（No.12～14）

■ 課題（レポート、試験等）のフィードバック及び成績評価方法

出席（10％）と期末試験（90％）が基本評価。授業での発言を加算点として評価する。その他レポートなどあれば考慮する。

■ 教科書

講義プリント

Dynamed（学内専用；<http://www.ebsco.co.jp/medical/dynamed/>）

■ 参考書

国立成育医療研究センター：妊娠と薬情報センターサイト（<http://www.ncchd.go.jp/kusuri/>）

■ その他

AB クラス合同講義